



所長の部屋



今さら聞けない病気の常識 : ⑩ 脳卒中 — ③ くも膜下出血

京都府南丹保健所長 時田 和彦

脳卒中の3つ目、くも膜下出血についてです。脳出血と違い、くも膜下では出血を止める圧力が弱い
ため、脳脊髄液の中に多量に出血します。大まかに言って、患者の1/3が死亡、1/3が後遺症を残し治癒、
1/3が後遺症なく治癒する、とされています。

原因の1番は、脳の表面を走る血管に、動脈瘤と呼ばれる血管のコブがあり、そこからの出血です。
ですからコブを事前に発見できれば、予防が可能です。

症状は、脳梗塞や脳出血と違い、頭痛が強いのが特徴です。今まで経験の無いような強い頭痛で、バ
ットで頭を殴られたよう、などと表現する人もいます。すぐに救急車を呼びましょう。発症数日前に、血圧
の大きな変動、軽い頭痛、目眩、視力障害などを経験する人もいます。

この疾患は、予防が可能です。なぜ脳の血管にコブが出来るかは分かっていませんが、血圧の高い人、
喫煙者、家族にくも膜下出血患者がいる人などで、発症しやすいことが分かっています。このような人は、
脳ドックを受診するか、病院で相談しましょう。動脈瘤が発見された場合は、脳外科で手術を受けコブに
クリップをかける治療か、手術せず動脈からステントやコイルなどを入れて治す方法などがあります。

この疾患も、予防が大切です。高血圧にならない、禁煙するなどです。食事や運動に気をつけて、健康
な生活を送りましょう。